

中国地区品質経営協会 シンポジウム

組織活性化・人材育成

－ 参加のお勧め － 本年度のテーマ『TQMと組織活性化・人材育成』

「TQM」は経営管理手法の一種で、Total Quality Management の頭文字を取り、「TQM」と表記され、日本語では「総合的品質管理」・「総合的品質マネジメント」・「総合的品質経営」などに訳されています。TQM は、企業活動における「品質」全般に対し、その維持・向上をはかっていくための考え方、取り組み、手法、しくみ、方法論などの集合体と言えます。それらの取り組みが、経営目標の達成に向けた方向づけをし、組織活動や人材育成などにも大きく関連しています。本年度の組織活性化・人材育成シンポジウムでは「TQMと組織活性化・人材育成」を焦点にシンポジウムを開催致します。

講演①では TQM の第一人者である広島工業大学名誉教授 久保田洋志先生に「効果的な TQM 実践のための組織活性化・人材育成」と題し、TQM の考え方や手法・組織としての取り組みや人材育成までを幅広く講演頂きます。

講演②では TQM の世界的権威であるデミング賞を受賞した(株)竹中工務店の貞永様に「棟梁精神」を品質の基本とした同社の TQM のしくみや現場での取り組み・人材育成について講演頂きます。

その後のパネルディスカッションでは、広島大学大学院教授の高橋勝彦先生をコーディネーターに、参加者の皆様からの質問への回答も交え、本音の意見交換ができればと考えています。

是非多数の皆さまのご参加を賜りますようご案内申し上げます。

- ◆ 日 時 : 2020年12月10日(木) 13:20 ~ 17:00
- ◆ 会 場 : ウェブ配信セミナー(ウェビナー)方式による。
(参加者は各会員会社様の会議室等をウェビナー会場として参加)
- ◆ プログラム :

第一部 講演①(13:25 ~ 14:25)

『効果的な TQM 実践のための組織活性化・人材育成』

広島工業大学 名誉教授 久保田 洋志 氏

第二部 講演②(14:35 ~ 15:35)

『竹中工務店の TQM と人材育成の取り組み』

株式会社 竹中工務店 広島支店 支店長席 TQM 事務局 貞永 誠 氏

第三部 パネルディスカッション(15:55 ~ 16:55)

・広島工業大学 名誉教授 久保田 洋志 氏

・株式会社 竹中工務店 広島支店 支店長席 TQM 事務局 貞永 誠 氏

・広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授 高橋 勝彦 氏(コーディネーター)

■ 講演者/講演要旨 紹介

<講演①>

【講演者】

◇ 久保田 洋志 氏 (広島工業大学 名誉教授)



[略 歴]

1972年 広島工業大学 講師
 1980年 広島工業大学 助教授
 1988年 工学博士
 1989年 広島工業大学 教授
 2012年 広島工業大学退任、同大学名誉教授
 2014年～2017年 ダイキョーニシカワ(株) 社外取締役
 2016年 一般財団法人日本規格協会顧問
 2020年 長年にわたり務めた当協会の運営委員長を退任し顧問に就任

[現 職]

TPM 優秀賞審査委員, JSQC 選書委員会委員, 日本品質管理学会名誉会員 他

[役職歴]

日本品質管理学会副会長, デミング賞審査委員会主査委員, TPM 優秀賞審査委員会委員長, QCサークル本部幹事・中国四国支部世話人 他

[表 彰]

工業標準化功労者経済産業省大臣表彰, 日本機械学会教育賞, 中国・四国工学教育協会賞, 日経品質管理文献賞 他

[著 書]

単著: QCサークル活動の再考, 日常管理の基本と実践,
 分担執筆: TQMの基本と進め方, TQM21世紀の総合「質」経営 他多数

【講演要旨】

新たな価値を生み出し、市場を創造し顧客の獲得を目指す企業活動と、取り扱う製品・サービスの品質は不可分です。特に日本の企業において「品質」は、企業の生命線であり本質であるとも言えます。

一般的に企業は戦略をたて、取り組み方針を決定して、企業活動を実践していきます。その戦略には、品質を向上させる戦略が必然的に包括されています。企業が構築する戦略やしくみの中でTQMは大きな役割を果たし、それは効果的に実践される必要があります。

今回の講演では、「ものづくり革新とビジネス革新」・「効果的 TQM 実践」・「経営戦略」・「方針管理と日常管理」・「問題解決のコンセプトと方法論」・「人材育成と組織活性化」などの項目について、時間の許す限り、分かり易く解説していきたいと思っております。

<講演②>

【講演者】

◇ 貞永 誠 氏

(株式会社 竹中工務店 広島支店 支店長席 TQM 事務局)



[略 歴]

1987～1988 竹中工務店入社・大阪と神戸の内外勤 3 部門
ジョブローテーション

1988～2009 (21 年間) 中国地方にて施工管理・施工計画・統括管理に従事

1994～1996 上記期間中、技術研究所にて地盤・基礎について研修

2009～2012 営業所長・作業所長・FMC 所長

2012～2018 TQM 推進責任者・生産統括部技術部長・作業所長

2018～ 11 月より現職で、現在に至る

【講演要旨】

弊社、竹中工務店は、1979 年に建設業で初めての「デミング賞実施賞」受賞以来、継続的にシステム改善し現状の TQM (Takenaka Quality Management) に至っています。本講演では、その取り組みを紹介いたします。

同時に、昨今の建設業の重大な課題である「人材不足」や「生産性向上・4 週 8 閉所」の解決のため、「人材育成」、特に若手の早期かつ確実な人材育成の重要性が高まっている中で、TQM における「人材育成」の位置付けとその体系について説明します。

特に、建設業は、多岐に渡る工種の技能工の手作業を主とした建築現場を第一線としており、また、建築物が建設地に固定される大きなモノであり、受注一品生産で PDCA サイクル回数が工期内の制約がある商品であること、天候や地盤などの不確定な条件が比較的多い職場であること、多職種の重層下請け体制であるという業界特有の条件もあり、技術者にはものづくりとそのマネジメントの両方を遂行する能力が必要とされています。

そのような状況下、元請け会社「ゼネコン」が、どの年代層・職能層に何をどう指導・育成しているかの代表事例として、「問題解決力の育成」・「技術の伝承」を取り上げ、その取り組みを紹介します。

建設業以外の、どんな「ものづくりの現場」にも共通で普遍的な課題、いわゆる、有期短期の特定目的活動「プロジェクト」の品質管理に関する技術・技能の暗黙知の伝承・育成について、参考になれば幸いです。

■ パネルディスカッション コーディネーター紹介

◇ 高橋 勝彦 氏

(広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授・工学博士)



[略 歴]

1994年 広島大学 工学部 助教授,
2001年 広島大学 大学院工学研究科 助教授,
2003年 広島大学 大学院工学研究科 教授,
2020年 広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授

[主な役歴]

デミング賞審査委員, 日経品質管理文献委員, 日本品質管理学会理事,
日本 MOT 学会編集委員, 中国地区品質経営協会副運営委員長他

■ 参加要領

【参加費】 無料

【申込締切日】 **2020年11月19日(木)**

【申込方法】 参加申込書に必要な事項を入力の上、Email で、お申し込み下さい。

※ 申し込みは、「エクセル書式」のまま送信して下さい。

※ 会場が複数となる場合は、会場毎に申込書のファイルを作成して下さい。

※ 一会場の参加者が 10 名を超える場合は、「会場名 No2」として新たな申込書のファイルを作成して下さい。

■ ウェブ配信セミナー（ウェビナー）開催における注意事項

- 1) ZOOMによるウェビナー方式です。参加各社のPC等の機器・N/W環境等を確認して下さい。
- 2) ウェビナー参加にあたり、録音・録画は禁止となります。
各社のウェビナー会場毎に接続責任者を決めていただき、確実な対応をお願いします。
- 3) ウェビナー接続責任者様（会場毎）には事前に「誓約書」のご提出をお願いしております。
誓約書をご提出いただいた方に、後日ウェビナーの案内をさせていただきます。
- 4) ウェビナー接続責任者様のメールアドレスを参加申込書にご記載願います。
配信/接続トライなど、後日メール案内をさせていただきます。

以上